



「新入生の皆さんへ」

岩手県立農業大学校 校長 柏原 一成

岩手県立農業大学校に入学された48名の新入生の皆さん、職員一同、心から歓迎いたします。本校は、「農業・農村が必要とする高度な専門的知識と技術、幅広い教養、国際性を身につけた農業の担い手となり、地域社会を発展させる上でのリーダー的役割を担う農業青年を育成」することを教育目標に掲げ、創立以来、3千名を超える人材を輩出し、その多くが地域農業のリーダーとして活躍しております。

本校の教育には、3つの大きな特徴があります。第一は授業の50%以上を専門的な実習として行っている実践教育、第二は国内外の先端農業を学ぶ先進教育、第三は寮生活で生涯の仲間づくりを進める全寮教育です。

新入生の皆さんには、本校での学びや生活の中で、確かな知識と技能、豊かな感性、自ら考え行動する主体性と根気強さを身に付け、どんな困難にも果敢に立ち向かい、本校の先輩方に続く、農業・農村を支える人材に成長してほしいと思っております。

皆さんの目標の実現に向け、本校としてもできる限りの支援をさせていただきます。ともに、本県、日本の農業を力強く前進させていきましょう。



学生自治会長として

学生自治会長 今野 七虹（野菜経営科2年）

1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たちは皆さんを心より歓迎いたします。

学校や寮生活等では慣れないことばかりで不安を感じていると思いますが、困った時や迷った時は気軽に聞いてください。私は自治会長として、自治会役員や先生方と協力し、皆さんが楽しく、充実した学校生活を送れるよう精一杯サポートしていきます。今年度は、東日本の農大が集まり交流をする東日本親善球技大会が、岩手農大主催で開催されます。自治会役員は運営を、選手はそれぞれの競技を全力でやり、より交流を深めるようにしましょう。また、その他の企画・運営には、自治会役員の見解だけでは限りがありますので、皆さんも積極的に意見を出し、一緒により良く充実した学校を作っていきましょう。



一緒に盛り上げていきましょう！（2年生53名）

農産経営科



農産経営科1年 森谷 颯太 (もりや そうた)

私の家では米を育てており、私も米について深く学びたいと思い、入学しました。入学してからは、米作りに使用する農薬や道具、機械類をうまく扱うことができるのか不安な事も多いですが、優しい先生や共に学んでいく先輩方と仲間のおかげで楽しく生活する事が出来ています。この先、学ぶことが多くなっていきますが、勉学を怠らず、知識を増やしていく2年間を過ごしたいと思っています。

農産経営科1年 鈴木 櫻子 (すずき さくらこ)

私は将来、実家の農業を継ぐために入学しました。高校でも農業について3年間学んできましたが、知識や技術を更に身につけたいと思っています。入学当初は、クラスももちろんですが寮生活に馴染めるかがとても不安でした。ですが、蓋を開けてみれば先輩方や先生方が優しく接してくれ、とても楽しい生活を送っています。2年間はあっという間だと思いますが、将来を見据えて充実した学生生活を送りたいです。

野菜経営科



野菜経営科1年 今野 弥耶 (こんの やや)

私は20歳で、人より少し遅いスタートかもしれませんが、その分多くのことを学びたいという思いで農業大学校へ入学しました。実家が農家ということもあって、以前から農業に興味があり、深く学んでみたいと思っていました。寮生活が始まり、自分のことは自分で行うなかで、責任感や自立することの大切さを日々感じています。また、実習では実際に体を動かしながら学ぶことで、これまでの座学とは違う新鮮さがあり、多くの発見があります。2年間という短い時間のなかで、仲間や先生方を通じて多くの経験を積み、農業の楽しさと奥深さを学んでいきたいです。そして、自分自身が強く成長していけるよう努力していきます。

野菜経営科1年 川原 啓輔 (かわはら けいすけ)

私は普通科の高校出身で、農業について分からないことも多いなか、実習や講義を通してたくさんことを学んでいます。最初は不安でいっぱいでしたが、仲間と協力する中で少しずつできることが増えてきました。現在は、友達がたくさん増え、とても充実した日々を送っています。

2年間という限られた時間で、色々な野菜の栽培方法や農業経営などを学ぶために毎日積極的に挑戦を続けていながら、人としても成長していきたいです。そして将来は安定した経営ができる農業者を目指して頑張っていきたいです。

果樹経営科



果樹経営科1年 菊地 功士郎 (きくち こうしろう)

私は農家の出身ではありませんが、果樹栽培に興味を持ち、盛岡農業高校で学びました。さらに専門的に学ぶため農業大学校へ進学し、特に桃の栽培について深く学びたいと考えています。入学当初は人間関係に不安もありましたが、今では打ち解け、充実した日々を送っています。短い学生生活ですが、仲間と共に多くの経験と知識を身に付け、技術を高めていきたいです。将来は果樹農家として、多くの人に美味しい桃を届けられるように努力していきたいと考えています。

果樹経営科1年 千葉 楓輝 (ちば ふうき)

私は祖母の影響で、子供の頃からりんごが好きでした。その頃から将来は果樹園を経営する夢があったため農業高校に進学しましたが、このままでは夢に届かないと思い、より専門的な知識、技術、経営方法を学ぶために農大に進学しました。寮生活の経験は少なく少し不安でしたが、先輩方や先生から親切に教えてもらい、少しずつ慣れることができました。農大では、自身に必要な力を授業や卒業研究を通して身に付けたいと思っています。

花き経営科



花き経営科1年 大川 らん (おおかわ らん)

私は祖母の影響を受けて花に関する知識を身につけたいと思い、岩手農大に進学することを決意しました。高校での知識や技術を活かし、寮生活にもすぐに慣れることができましたが、本格的な農業の授業が始まると最初は分からないことばかりで大変でした。高校の授業や実習では自分で知識をつけて覚えることが大事でしたが、岩手農大では自分で気づくことが必要なのだと言われ、農大生活を通して実感することができました。

「自分で気づいて、どう行動するかが大事」という点は高校とは少し違いますが、その分、高校よりも花に関する知識や技術が学べてとても嬉しいです。私は分からないことを学ぶことがとても好きなのでこれからの実習もとても楽しみです。未来の農業の担い手として大学での授業を大切に、仲間とともに学んでいきたいです。

花き経営科1年 中村 千真 (なかむら ゆきま)

私は将来の日本の花き産業を支える人材になりたいと考え、入学しました。農業大学校では、人生初の寮生活にとっても緊張していましたが、寮の雰囲気はとてもよ今のところ楽しく生活することができています。学習では、高校での学習を生かしつつ、農大での新しい学習をしっかりと頭に入れていき、優秀な農業の担い手になれるよう努力していこうと考えています。これから始まる様々な実践的かつ専門的な実習や授業を頑張りたいと思います。また、資格取得のための学習もしっかり行い、無事資格取得できるよう学力向上に努めたいです。

酪農経営科



酪農経営科1年 鈴木 亜紀奈 (すずき あきな)

私は将来、農業に関わる仕事をしたいと思い、農業大学校に入学しました。基礎知識もそうですが、一番は牛について学んでいきたいです。牛がとても大好きなので、先生や先輩に教えてもらいながら知識を深め、かわいい牛さんとたくさん戯れたいです。そして、農業大学校では授業が実践的で、資格取得もできると聞いているので、全力で、いろいろなことを楽しみながら挑んでいきます。

寮生活では慣れない場所で緊張していましたが、先輩や友達のおかげで安心して過ごすことができています。同級生や先輩との交流を通してコミュニケーション能力も身に付けていきたいです。二年間という短い間ですが目標に向かって頑張っていきます！

酪農経営科1年 齊藤 蒼空 (さいとう そら)

将来私はホルスタイン種と黒毛和種を飼育できる牛舎を構え、乳肉一貫体制の経営を行いたいと考えています。六次産業化にも興味があり、高校では食品の衛生や栄養などを学びました。それを生かし、農業大学校では、牛の飼養管理や生理学を重点的に学びたいと考えています。

入学前、寮生活に不安を抱いていましたが、先輩や同級生の皆にやさしく接していただき、徐々に集団生活に慣れてきました。世界情勢の悪化による飼料価格や燃料費の高騰など課題が続きますが、日本の食を支えるために、この2年間で多くの人と出会い、畜産業界に貢献していきたいです。

肉畜経営科



肉畜経営科1年 阿部 柊羽 (あべ とわ)

私は将来、動物と関わることでできる職業、その中でも肉牛の飼育をする職業に就きたいと考え、入学しました。農業高校出身であるため、ある程度の知識はあるだろうと思っていましたが、現時点で初めてのことを教わる機会もあり、今後の授業、実習が楽しみです。

入学初日は初の寮生活ということもあり、不安しかありませんでしたが、面白く優しく賑やかな先輩方や初めましての新しい仲間たちのおかげで安心して過ごせています。これからの2年間、新しい知識と技術を身につけながら楽しく頑張っていきたいと思います。

肉畜経営科1年 駒ヶ嶺 圭太 (こまがみね けいた)

私は、牛に関わってみたいと思い農業大学校に入学しました。私は総合学科の高校で野菜や花、果樹は学んだことがありましたが、畜産は未経験で、実家も農家ではないので、周りについていけるか不安でしたが、周囲に支えられながら楽しく寮生活や日々の学習に取り組んでいます。これから始まる農業大学校での2年間は本当にあっという間だと思うので、精いっぱい学習をして畜産の知識を身につけて将来に繋げていけるように頑張りたいと思います。

入学式



学生自治会長から歓迎の言葉



新入生代表による誓いの言葉

4月9日（木）、令和8年度入学式を本校体育館で挙行し、本科新入生48名（農産園芸学科29名、畜産学科19名）が入学を許可されました。

入学許可の際、担任からの呼名に対して一人一人から力強い返答があり、夢に向かう強い決意が感じられました。

次に、柏原一成校長による式辞、照井富也県農林水産部長による知事告辞があり、その後、御来賓の城内愛彦県議会議員、高橋文浩金ケ崎町長から御祝辞を賜りました

続いて、学生自治会長の今野七虹さん（野菜経営科2年）が、「皆さんを心から歓迎する。農大では、農業の基礎的な知識や技術、経営手法を学びながら、事例研究で視野を広げることができる。寮生活では、生涯の仲間をつくることことができる。二年間、仲間たちと励ましあい乗り切ってほしい。困ったときは、在校生がサポートするので、遠慮せずに声をかけてほしい。」と歓迎の言葉を述べました。

引続き、新入生代表の山崎莉菜さん（酪農経営科）が、「これから2年間、この緑豊かで雄大なキャンパスの中で、農業の専門知識や技術を身に付けていくことに大きな喜びを感じるとともに、農業界を担う人材になるという使命感を抱いている。日本の農業は様々な課題を抱えているが、私たち若い世代のアイデアで解決できることがあるはず。多くの食卓に農畜産物を届け、消費者の笑顔を増やしたい。そして、生産者の物語を消費者に伝えたい。日本の農業を盛り上げるために、今の私たちにできることは何か、常に探求しながら、勉強に励みたい。」と決意を述べました。

会場は、花き経営科の2年生が制作した生花で彩られ、新入生はそれぞれの夢と希望の実現に向け、大学校生活をスタートしました。

令和7年度卒業生の進路

（令和8年4月9日現在）

進路	人数	内訳
就農	1	一関市
雇用就農 （農業法人等）	11	ベルグアース(株)、よこみちファーム(株)、(有)サン農園、(株)宇津宮果樹園、(有)沢田青果、農事組合法人となん、合同会社遠野酪農舎、タカハシ畜産(株)、(株)日高見牧場、北日本JA畜産(株)藤沢牧場、(有)エム牧場
進学	2	岩手大学農学部、東京農業大学
就職	農業団体	9 JA新しいわて、JAいわて中央、JA岩手ふるさと、JAいわて平泉、JA秋田おばこ、JA秋田ふるさと、JA新みやぎ、JA共済連岩手、NOSAいわて
	農業関連企業等	7 (株)みちのくクボタ(2名)、(有)ミズノウ商事、(有)岩手スカイテック、(株)純情米いわて、仙台生花(株)、(株)釜石飼料
	公務員等	3 (公社)岩手県農業公社(2名)、(独)家畜改良センター
	一般企業等	3 (株)ビューティー花壇東日本、(株)花のヤマト、(株)コメリ

今後の主な行事予定

月日	内容	月日	内容
6月19日	学生自治会スポーツ大会	7月31日、8月1日	オープンキャンパス
7月6日	農林水産部長講話	8月27～28日、 8月31日～9月1日	前期定期試験（本科1年）
7月25日 ～8月17日	夏期休業	9月16日 ～10月2日	農家派遣実習